

合併65周年の記念すべき節目の年を迎えるにあたり

令和4年度 施政方針

(一部抜粋)

施政方針とは…政治を行うときの方向。政治の目的・方法・理念



合併65周年
さらなる発展に向けて

新型コロナウイルス感染症が世界中で拡がり始めてから2年余りが経過しました。今年に入り、新たな変異株「オミクロン株」による感染が全国、そして県内においても急拡大し、依然収束の見通しが立たない状況が続いております。

感染された方々の一日も早い回復をお祈り申し上げますとともに、日々、感染症対応の最前線でご尽力されている医療従事者の方々に深く敬意と感謝を申し上げます。

長洲町といたしましては、引き続き3回目のワクチン接種をはじめ感染予防に努めるとともに、きめ細く

かな支援に向けた事業などを実施してまいります。

また、令和4年は旧長洲町と腹栄村が合併して65年を迎える記念すべき年であり、さらなる長洲町の発展に向け、各種事業を展開してまいりたいと考えております。

「第6次長洲町総合振興計画」に沿った予算編成

令和4年度の国の一般会計予算案は、過去最大となる総額107兆5,964億円が計上されました。今回の国家予算につきましては、新型コロナウイルス対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現を図るための予算として計上されております。

長洲町におきましても社会保障費の増加などにより、厳しい財政運営を強いられる中、国の施策に基づき、令和3年度に策定しました「第6次長洲町総合振興計画」に沿って、予算編成を行ったところであります。

限られた財源を効率的かつ重点的に配分

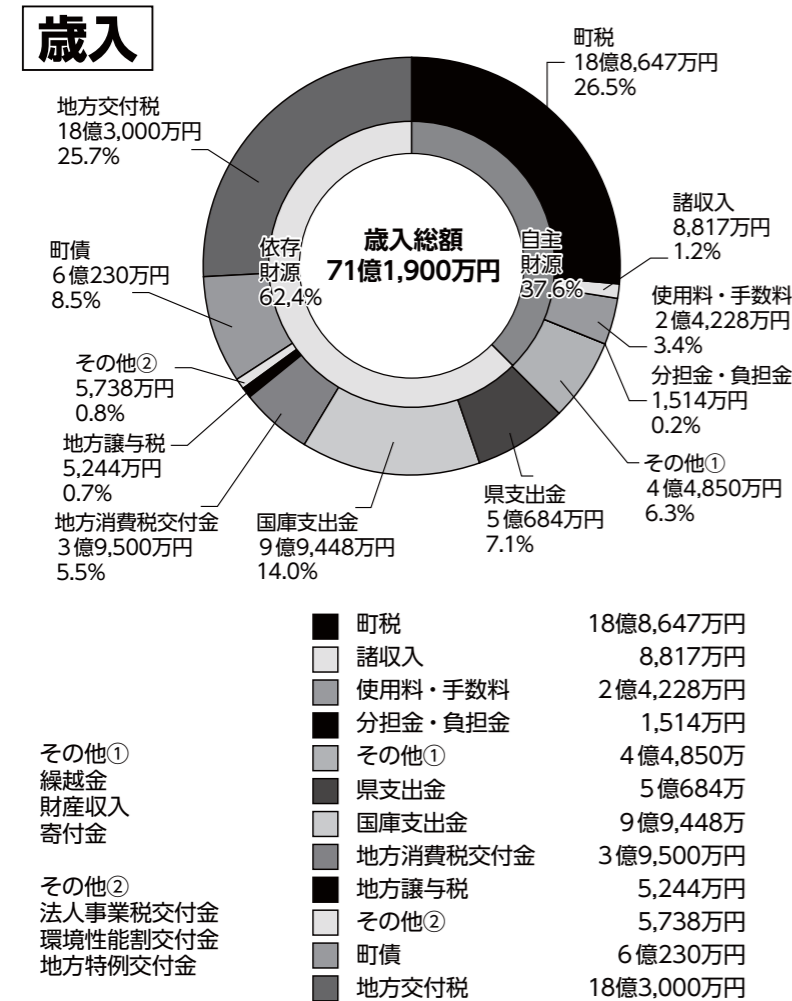
令和4年度予算につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により、町税収入が減少し、引き続き厳しい予算編成となっております。その中におきまして、各種補助金を最大限活用し、健全な財政運営に取り組みながら多様化する行政ニーズに対応するため、無駄を省き、限られた財源を効率的かつ重点的に配分することで、最小の経費で最大の効果を挙げる予算案をお示したところでございます。

「魅力と活力あふれ 夢ふくらむ 未来輝くまち」を目指して

本町を取り巻く財政状況や社会情勢は、依然厳しい状況ではあります。が、第6次長洲町総合振興計画における将来像「魅力と活力あふれ 夢ふくらむ 未来輝くまち」を目指して、全力で取り組んでまいっている所存であります。

令和4年度 当初予算

予算総額135億円 一般会計総額 71億1,900万円



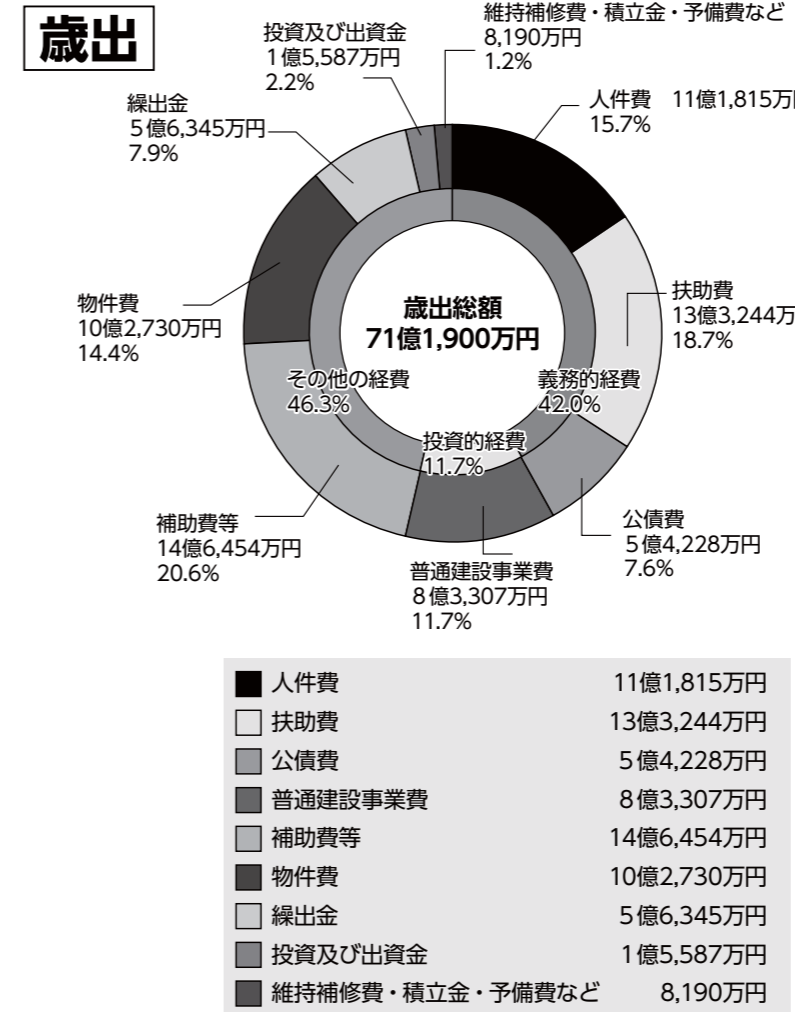
歳入

には、自主財源と依存財源があります。

町税など、町が自主的に収入することができる財源（自主財源）は26億8,056万円で、全体の37.7%です。そのほとんどが町民の皆さんの納める町税となっており、前年度から6,082万円減少しています。

国や県から、定められた額の交付を受けて割り当てられた収入（依存財源）が44億3,844万円で、全体の62.3%を占めています。

主なものは、地方交付税と呼ばれるものや国・県のお金です。



歳出

を性質別（どのような性質の経費がどのくらい使われたのかを示すもの）に見ますと、人件費、扶助費（児童・高齢者・障がい者などの福祉に使われる経費）、公債費（借金の返済）などに義務付けられている経費（義務的経費）は、29億9,287万円で全体の42.0%（前年度当初予算に比べ3.5%減）を占めています。

また、令和3年度に比べ大きく伸びているのが、道路や施設建設に使われる経費（投資的経費）で、8億3,307万円と前年度当初予算に比べ403.6%増となっています。これは令和3年度当初予算が義務的経費を中心に編成した骨格予算であることが大きな要因となっています。

令和3年度 補正予算

令和3年度の一般会計補正予算が3月議会において可決されました。

一般会計の補正予算額は7億2,894万円で、一般会計予算総額は88億3,569万円です。

可決された補正予算は、『国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策』を実現するために国が編成した補正予算を活用して実施する事業を軸としており、国土強靱化、教育振興等に大きく寄与するものです。

◆障害福祉者（児）給付費	5,200万円	◆浦川橋外1橋橋梁補修工事	1,260万円
◆小中学校の新型コロナウイルス感染症対策事業	540万円	◆新学校給食センター建設事業	2億8,269万円
◆清源寺地内排水構造物改良工事	735万円	◆六栄小学校体育館改修工事	1億6,175万円
◆長洲・岱明線道路舗装補修工事ほか通学路安全対策工事	4,305万円		
◆赤田・上沖洲道路改良工事ほか道路改良工事	1億4,035万円		

会計名	予算額	前年度との増減率
国民健康保険特別会計	21億8,570万円	△1.19%
介護保険特別会計	18億6,500万円	+3.55%
後期高齢者医療特別会計	2億5,570万円	+10.03%
水道事業会計	収益的支出（3条）	2億3,130万円 +4.8%
	資本的支出（4条）	1億1,378万円 △50.7%
下水道事業会計	収益的支出（3条）	8億210万円 +0.5%
	資本的支出（4条）	9億4,215万円 +31.9%

特別会計とは、特定の収入をもって特定の支出にあてるような事業について、その収支を明確にするため一般会計と区別して設けられるものをいいます。この会計の設置は法律に基づくもののほか、すべての条例に基づかなければなりません。

また、この他に地方公営企業会計（地方公共団体が社会公共を目的として経営する企業）として、水道事業会計、下水道事業会計があります。

令和4年度 主要事業

本年度、町が取り組んでいく主な事業を紹介します。

※事業費については、令和4年度当初予算と令和3年度から繰り越した予算を合算した事業があります。

1 安全・安心で自然豊かな住みよいまち

都市計画道路「赤田・上沖洲線」整備事業

2億2,707万円（建設課）

南関インターと名石浜工業団地などを結び、観光・物流面で重要な縦軸となる都市計画道路「赤田・上沖洲線」の整備を計画的に推進します。

町道整備事業

5,579万円（建設課）

「上沖洲・鷺巣線」「塩屋・赤崎線」などの幹線道路や生活道路である「よけの上線」「土井辻線」などの町道の整備を行います。

分別収集・リサイクル推進事業

4,966万円（住民環境課）

ごみの分別徹底・減量化に向けて、ごみ収集業務委託、生ごみ処理機購入補助、資源ごみ保管庫設置補助など、ごみの分別収集・リサイクルを推進します。

公園・街路等維持管理事業

3,741万円（建設課）

公園・広場などを町民や子どもたちが安心して利用できるように、適正な維持管理を行います。

地域公共交通活性化事業

2,175万円（まちづくり課）

きんぎょタクシーを継続運行し、町民の広域的な移動手段および公共交通の維持確保を図ります。



空家対策事業

1,000万円（まちづくり課）

空家の適正管理や有効活用を図るため、空家解体補助のほか、空家の改修、家財道具の撤去など空家バンク登録物件への補助を行います。

防犯カメラ整備事業

713万円（総務課）

行方不明者や徘徊者の早期発見、犯罪の防止などのために防犯カメラを整備し、安全の確保を図ります。

防犯灯整備事業

321万円（総務課）

行政区が管理する防犯灯の新規整備や蛍光灯からLEDへの取り換えに対する費用の一部支援、町設置の防犯灯の維持管理を行います。

住宅リフォーム補助事業

200万円（まちづくり課）

町民の住環境の向上を図るため、町内業者が実施する住宅リフォーム工事に対し補助金を交付します。

消費者行政事業

135万円（総務課）

相談窓口の充実を図るとともに、消費者教育の実施により、消費者トラブルの防止や解決のための知識の普及を図ります。

消防第6分団格納庫更新事業

1,794万円（総務課）

築40年以上を経過し、内部外部とも老朽化した分団格納庫を更新し、地域防災力の強化を図ります。

防災士育成事業

57万円（総務課）

地域防災リーダーとなる防災士の育成を図り、資格取得のための研修会の実施および費用の助成を行うとともに、児童向けの防災研修会を実施し、防災知識の普及を図ります。

都市計画マスタープラン策定事業 545万円（まちづくり課）

まちづくりの具体性ある将来ビジョンや地区ごとのまちづくりの方針を示し、利便性の高い土地利用の推進を図るため、長洲町都市計画マスタープランを策定します。

新規

長洲港周辺整備基礎調査事業

153万円（まちづくり課）

長洲港周辺のまちづくりを検討するため、長洲港周辺の整備に向けた基礎調査業務を実施します。

新規

JR長洲駅管理業務委託事業

357万円（まちづくり課）

JR長洲駅の利用者の安全安心を確保するために、駅係員を配置します。

新規

橋梁長寿命化事業

1,860万円（建設課）

町道に架かる橋の長寿命化のため、長寿命化計画の見直しを行うとともに、橋梁の補修を行います。

雨水対策事業

662万円（下水道課）

ゲリラ豪雨発生時の内水氾濫による浸水被害リスク軽減のため、浸水対策の基礎調査に取り組みます。

新規

2 子どもの生きる力を育み夢と希望に満ちたまち

新学校給食センター整備事業

3億3,194万円（学校教育課）

子どもたちに安全・安心な学校給食を提供するため、荒尾市と共同で学校給食センターの整備を行います。

子ども医療費助成事業

6,172万円（子育て支援課）

中学校3年生までの医療費の一部負担金を全額助成することにより、疾病の早期治療を促進し、子どもの健康の保持および健全な育成と子育て支援を図ります。

小学校放課後教室「フレンズ」事業

2,993万円（学校教育課）

放課後における児童の安全・安心な居場所を提供し、地域住民との交流による地域の活性化と教育力の向上に取り組みながら児童の健全育成を図ります。

夢・希望に満ちた大学生等支援給付金事業

1,500万円（まちづくり課）

新型コロナウイルスの影響を受けた町内在住または町出身の大学生などが将来の夢や希望を失うことなく、安定した学生生活を送れるよう支援給付金を給付します。

英語教育推進事業

897万円（学校教育課）

小学校における英語教育を充実させることで、幼児期からの一貫した英語教育に取り組みます。

学校ICT教育推進事業

619万円（学校教育課）

学校におけるICT教育を推進し、学習環境の充実に努めるとともに、タブレット端末を効果的に活用します。

幼児英語教育事業

600万円（子育て支援課）

町内の保育園・認定こども園に在籍する全園児を対象に、遊びを通じた英語教育を行うことで、幼児期からのグローバルな人材育成を目指します。

健康ポイント事業

226万円（福祉保健介護課）

自ら立てた健康目標に取り組み、各種健診の受診や感染予防対策、フレイル予防などへの実践によりポイントを付与し、健診受診率の向上と健康づくりへの関心を高めます。

ながす未来館空調設備更新事業
（設計業務）

新規

590万円（生涯学習課）

ながす未来館の文化ホールや図書館の空調設備を更新するための、設計業務を行います。



母子等貧血検査事業

新規

87万円（福祉保健介護課）

乳幼児および保護者に対する貧血簡易検査により早期発見・治療へつなげることで発達障害リスクの軽減、心身の健康状態の改善および食育を推進します。

有明圏域電子図書館事業

新規

47万円（生涯学習課）

有明圏域定住自立圏の構成市町である、大牟田市、柳川市、みやま市と連携して電子図書館を開設します。

4 強い産業を創出し魅力に満ちたにぎわいのあるまち

県営平原排水機場更新事業

2,210万円（農林水産課）

昭和59年度に運用を始めた平原排水機場の老朽化に伴い、排水施設の更新を行うことで、農業経営の安定化や湛水被害の未然防止などを図ります。

地域経済活性化キャンペーン事業

2,060万円（まちづくり課）

非接触型QRコード方式によるスマートフォン決済によりキャッシュレスの啓発・導入を促進するとともに、地域経済の回復を図ります。

観光振興事業

1,742万円（まちづくり課）

「火の国長洲金魚まつり」などのイベントを開催し、交流人口の拡大や地域活性化を図ります。また、県内外での各種イベントにおいて「金魚のまち・長洲町」のPRを実施します。

水産業振興事業

677万円（農林水産課）

あさり資源の環境保全、有明海の干潟環境改善へ向けた取り組みを実施し、あさりや海苔の漁獲向上を目指します。

県営第二腹赤地区圃場整備事業

630万円（農林水産課）

平成29年度に採択され令和5年度を事業完了年度とする計画において農業生産基盤の強化を図ります。

養魚振興事業

88万円（農林水産課）

「ながす羽衣琉金」をはじめ、ながす金魚の安定生産、ブランド化を図るとともに伝統産業である金魚養殖の事業継承に向けた取り組みを支援します。



6次産業化推進事業

45万円（農林水産課）

1次産業の活性化や生産者の所得向上を図るため、地元の農水産物を活用した商品開発に取り組むとともに、将来的なビジョンを明確にした推進体制の構築を図ります。

ひとり親家庭等医療費助成事業

370万円（子育て支援課）

ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上を図るため、高校生までの医療費自己負担分について、その全額を助成するとともに、保護者の自己負担分の一部についても助成します。

子育て世代総合支援センター事業

339万円（子育て支援課）

はぐくみ館において、子ども、保護者などからの相談に応じ、子育て世代への切れ目ない支援を総合的に実施します。

結婚新生活支援事業 300万円（まちづくり課）

婚姻に伴う経済的負担を軽減するため、結婚して新生活を始める新婚世帯に対して、新居の取得費や家賃、引越費用を補助します。

中学生の学力向上対策推進事業

163万円（学校教育課）

受験などに不安を抱えている中学3年生の希望する進路実現のため、学習塾を実施します。

夢の教室事業

165万円（学校教育課）

スポーツ各界で活躍したアスリートを「夢先生」として迎え、小学5年生、中学2年生を対象に夢を持つことの大切さを伝えます。

学校施設長寿命化事業
（六栄小学校体育館改修工事）

新規

1億6,370万円（学校教育課）

建築から40年以上経過し、経年劣化が進んでいる六栄小学校体育館を大規模改修します。

幼児ICT教育推進事業

新規

270万円（子育て支援課）

幼児期からICT環境に慣れ親しむことで、ICT化社会へ適応した人材を育成し、小学校へのスムーズな移行を図るため、町内の保育園・認定こども園に対して、タブレット端末などの購入費を補助します。

3 誰もが健康で生きがいを持ち自分らしく生活できるまち

予防接種事業

5,906万円（福祉保健介護課）

疾病の予防や重症化を防ぐため、インフルエンザや肺炎球菌などの各種予防接種を実施します。

母子保健事業

1,423万円（福祉保健介護課）

妊産婦および乳幼児などに対し、各種健康診査・保健指導・離乳食教室などの事業を実施することにより、健康の保持および増進を図ります。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業

1,147万円（福祉保健介護課）

介護予防、身体・活力の低下によるフレイル予防や、生活習慣病などの疾病予防・重症化予防の取り組みを地域において一体的に実施し、健康寿命の延伸を図ります。

歯科保健事業

389万円（福祉保健介護課）

妊婦および乳幼児から高齢者まで年代に応じた歯科保健事業の推進により、生涯を通じた歯と口の健康維持増進を図ります。

5 誰もがまちづくりに参画し人が輝くまち

地域創生推進事業

756万円（まちづくり課）

快適な生活環境と持続可能な地域活動の実現を図るとともに、地域でのICT活用を推進し、地域コミュニティ間や行政、各団体との連携強化や利便性の向上に取り組む各行政区に対し補助金を交付します。

外国人支援事業

292万円（まちづくり課）

町内に住む外国人が暮らしの中で抱える生活課題を解決するため、外国人相談窓口を設置し、生活支援に関する相談、日常生活に必要な行政サービスや生活情報の提供などを行います。

男女共同参画推進事業

42万円（総務課）

誰もがいきいきと個性と能力を發揮できる社会の実現を目指し、男女共同参画講演会の開催や地域リーダー研修への参加費の助成、優良事業所への表彰などを行います。

高齢者における 情報推進事業

762万円

（まちづくり課）



高齢者を対象としたスマートフォン教室などを開催し、情報格差の解消を図ります。

男性の育児休業取得促進奨励金事業 130万円（総務課）

男性の育児参加を促進し、子育て世帯の仕事と育児の両立を支援するため、育児休業を取得した男性に対し奨励金を交付します。

新規

6 計画の実現に向けた行財政運営の方針

マイナンバーカード普及促進事業

1,839万円（住民環境課）

町内の介護予防拠点施設や事業所などに出かけ、マイナンバーカードの申請受付を行うとともに、マイナポイントの予約や申込支援を実施することでマイナンバーカードの普及促進を図ります。

職員研修事業

203万円（総務課）

各種オンライン研修や派遣研修、自庁研修を実施し、より質の高い行政サービスの提供を目指して職員の資質および能力の向上を図ります。

庁舎空調設備等更新事業

2億6,966万円（総務課）

空調設備をはじめ、庁舎の電気、機械設備を高効率機器に転換することにより、庁舎の適切な維持管理を行います。

新規

庁舎トイレ改修事業（設計業務）

660万円（総務課）

役場庁舎トイレの老朽化に伴い、ユニバーサルデザインに配慮したトイレ改修を行い、誰もが安心して利用できる環境を整備します。

新規